

「新聞を用いた授業実践」

～兵庫県知事選挙の記事から兵庫を考えよう～

多可町立加美中学校 校長 越川 昌信

教諭 石川 翔大

1. 新聞記事を用いた授業の展開

(1) 授業のねらい

この授業では、教材を用いてその中から必要な情報を読み取らせ考えさせるねらいがある。題材として今年の7月に行われた兵庫県知事選挙を扱った。まずは、今の自分が知っている限りの兵庫県に関する課題を考えさせ、その後に4人の立候補者の主張を新聞読みそこから見えてくる兵庫県の今の課題で自分の思い浮かばなかったことを知らせる。そしてそれらの課題について、どのように対策をしていかねばならないかを考えさせ、またそれをしっかりと対策してくれるのはどの候補者なのかということを見極めさせる。あと3年ほどすれば選挙権が与えられることになるので、政治について関心を持ち自分の1票の権利を有効行使するための力を養う。

(2) 教材(新聞)について

教材は新聞記事を用いる。兵庫県知事選挙に関する記事を集約し、テーマごとにまとめたプリントを作成しそれを使用する。新聞をそのまま使用することも考えられたが、新聞にあまり馴染みをもっていない生徒が多いことと、生徒の実態を踏まえ膨大な文字が載った新聞をそのまま与えても扱いきれないことが想定されたので、プリントを作成することとした。プリントについては計12枚使用した。

各授業で生徒が調べたことや考えたことを記入するワークシートが3枚。①は兵庫県の課題について知っていることと調べたことを記入。②では知事選候補者それぞれの主張と自分ならどの候補者を応援するか、またその理由も記入。③では当選した知事が行おうとしていること、兵庫県民が知事選で抱いた期待について新聞から読み取ったことを記入。そして3枚とも、各授業での振り返りを書く欄も設けている。生徒が各ワークシートでどのような記述をしたかについては「(3)授業の展開」の中で述べる。

ワークシート以外に新聞記事を内容ごとにまとめた資料プリントも使用する。何日か分の新聞記事の中から必要と思われる部分のみを切り抜いているので、プリント内の全ての文章を満遍なく読み進める必要はない。記事の題を見て、自分が授業のなかで考えることの材料となるものだけを読み進め、いろいろな情報の中から必要な情報



※ワークシート

だけを取捨選択すればよい。

記事をもとに作成したプリントは9枚ある。資料①=兵庫県の最近の課題とされていること、資料②=知事選の候補者が出揃った頃の各候補者の主張、資料③=いろいろな質問に対する各候補者の回答集、資料④=候補者の主張内容や紹介文などをまとめた記事プリントで各候補者分4枚、資料⑤=兵庫県民が選挙で望んだことの統計データ、資料⑥=当選した知事の所信表明や今後取り組もうとしていること。以上のプリントを用いて、いろいろなテーマの新聞記事よりたくさんの情報を読み取らせ思考をめぐらせる。

(3) 授業の展開

新聞を用いた授業のテーマは「兵庫を考えよう！」とした。兵庫県知事選挙の新聞記事から兵庫県についての考察を深めさせる。授業は3部構成としている。

1部は、兵庫県の課題について今知っていることから考え、資料①を読み自分の知らないかった兵庫の課題について知る。また、知事選挙に立候補した4名の主張を資料②から読み、候補者が知事になった際に取り組もうとしていること、すなわち候補者それぞれが考えている現在の兵庫県の課題を読み取る。様々な視点から兵庫について、特に課題について考える。

2部では、知事選挙の候補者の主張をそれぞれ資料③と資料④より読み取り、今後の取り組みによってどのような新しい兵庫を作り出す可能性があるのかを考える。その上で自分であればどの候補者を応援するのかを兵庫県民として決定する。中学3年生の彼らにとって、あと3年後には選挙権を与えられる立場になるので、そのためにも政治に関心を寄せ自分の権利行使するための態度を養う。選挙が行われた時に自分でればどのような視点に着目して候補者を見比べるのかという点を、生徒はしっかり考えて応援者を決める。

3部では、実際の知事選挙では兵庫県民がどのような点に着目し、候補者選びをしていたのかを、資料⑤を見て読み取る。兵庫県民が兵庫の中で改善を求め、充実を図ってほしいと思ってることが何なのかを知る。そして、当選した知事が県民の声に対してどのように答えようとしているかを資料⑥より読み取る。最後には、今までの新聞記事を通して今後の兵庫県はどのように変わっていくと考えられるか、どのようになってほしいかということを考えワークシートに記述する。加えて、選挙戦と言われるもののがどのように展開されているか新たに知ったことや感じたことを、この度の3回に渡る授業の感想という形で記述する。

以下ではワークシートで出た生徒の声を挙げながら、授業での取り組みを振り返り考察を深めていく。

a. 第1回ワークシートより

○候補者の言葉の中から課題を見つけよう。

- ・人口減少対策や医療の充実を図ろうとしている。
- ・兵庫県を、再生可能エネルギーを活用する先進県にしようとしている。
- ・税金を安くし、最低賃金の引き上げをしようとしている候補者がいた。

候補者の主張の中から課題を見つけ出す作業は、想定していたよりもよくできていた。各候補者がやろうとしていること、すなわち今の兵庫県で取り組まなければなら

ないことを読み取ることができていた。記事を読んでいく中で、兵庫の課題として考えていたことが主張の中に盛り込まれていると、しっかりとそれを見つけることができており、自分が考えていた課題が候補者によって取り組まれようとしていることから、適切に問題意識を持っていたことを実感することができただろう。

b. 第2回ワークシートより

○あなたは誰を応援したいですか？（理由）

- | | |
|-------|---|
| A氏の場合 | ・政策に具体性があるし、発信力があるから。
・多選を防いで、新しいことをしてくれそうだから。 |
| B氏の場合 | ・今までにも知事を務めてきているので、経験豊富だから。
・長年知事として立派に務めてこられているから。
・教育、子育て面を充実してくれるから。 |
| C氏の場合 | ・若者にとって助けになる政策をやろうとしているから。
・憲法9条を守ろうという意識が高いと感じたから。 |
| D氏の場合 | ・現在抱えているミサイル問題などに取り組もうとしているから。 |

各候補者の主張を読んで、自分に関係のあると思うことを主張している候補者を応援している生徒が多かった。それぞれ自分の着目するポイントを見つけて、応援者選びができたのではないだろうか。中でも、C氏の主張の中には若者に対する政策が明示されていたので、それを読んでC氏の応援をしようと決めた生徒がいたようだ。あと、最も経験が豊富なB氏はその安心感からか、応援する生徒が多かった。一方で変化を求める生徒は、A氏を応援することが多かった。情報の発信力が見られていたり、多選に対して否定的な見方をしたりしている生徒が多く応援していた。また、D氏に対してもSNSを利用した選挙戦の展開や政策の着目点を読み取って応援している生徒もいた。

○選挙結果について思うことを書こう。

- ・それぞれの候補者の意見が知れて、その上で誰を応援するかを考えるのは面白かった。
- ・B氏を応援したいし、他の候補者の主張も良かったです。
- ・自分が投票をするときは、しっかりと考えを持った上で投票したいです。
- ・今まで知事が何をしようとしているかには全く興味がなかったけど、いろいろな人が兵庫県をよくしようと考えてくれているのだなと感じることができた。

選挙結果については、それぞれ応援者も異なっているので受け取り方も異なるが、兵庫県をより良い場所にしてほしいという気持ちは共通していすれの生徒も持っていた。中には、兵庫県政に対する関心を高めたという声もあった。授業の中で新聞を読む機会を得て、兵庫県に関することやその他いろいろなことに興味関心を持つことができたのはよかったです。全体を通して、新聞からたくさん情報を取り取る中で県政に関する興味関心が以前よりも高まったということが考えられた。

c. 第3回ワークシートより

○あなたは、これから兵庫県がどのようにになってほしいですか。

- ・人口減少を食い止めてほしいです。
- ・兵庫県の特産物や良いところ全国の人にもっと知らせてほしい。
- ・他の候補者が言っていたように、医療費無料などを検討してほしい。

これまでの授業で読み取ってきた兵庫県の課題の改善を望む声はたくさんあった。さらに新聞を読んできた中で自分が特に感じた課題や問題点を挙げて記述している生徒もいた。新聞を読んで知り得た情報を作文の中で活用できていることから、授業の中で新聞を使うことで新聞を資料として活用する力を伸ばすことができる考えられる。

○資料の新聞を読んでみての感想

- ・文字がとても多くて読もうという気にあまりなれなかった。でも読んでみたら、おもしろそうな内容が書いていた。
- ・知事選挙のことはよく知らなかったけど、新聞を読むといろいろなことを知れた。
- ・新聞に載っていたグラフなどはとても見やすかった。
- ・新聞はいろいろなことを知るきっかけになるなと感じました。
- ・ニュースなどは今までテレビでしか見なかつたけど、新聞は出来事についてより詳しく書いてあると思った。

あまり馴染みがなかった新聞に対して新しい見方ができるようになっている生徒の感想があった。初めはなかなか読もうという気持ちになれなかつたところから、読んでみると興味の湧く内容があるということを知ることができたことは、生徒にとって新聞というものに少しは馴染みを持つ一歩になつたと感じている。また、新聞には文面だけではなく様々な統計データも載せられているので、そういうデータからも必要な情報を適切に読み取れるように今後も引き続き新聞を資料として用いて、資料活用の技能を育んでいきたい。

(4) 授業を行ってみての考察

今回の授業では資料として新聞記事を用いたが生徒にとって、新聞はまだ馴染みがなく、多量の文が記載されている記事を読むことは非常に困難であったようだ。記事を読むときに「この漢字何と読むのですか?」「この言葉はどういう意味ですか?」という質問が多く、スムーズに読み進めることが難しかつた。必要な箇所だけをくみ取つて読み進めればいいのだが、その取捨選択をする力がまだ十分にはないようだったので生徒に与える資料の量は少し多すぎたことが反省の一つである。

(5) 今後の課題

生徒が新聞に触れるきっかけを増やすことはできたが、授業内などの実践はこれからさらに探求しなければならない。学習の中で新聞をどのように活用できるのか、学校教育目標達成に向けて、また学力向上のために有効な活用の仕方を考えなければならない。現段階では、新聞記事の内容と授業内容で関連した事柄を授業序盤の導入の中で取り入れることはできており、資料として使い始めた段階である。授業展開の中で新聞を活用した活動は、未だどの教科でも不十分であり、新聞記事を活用してある事柄についての探求を深める学習や新聞を作成し学習内容の定着を図るなどといった、アクティブ・ラーニングをより取り入れることが今後の課題であると考える。教師自身がもっと新聞の意義や活用方法に気づき、様々な活用につなげられるように今

後さらに模索していきたい。